

令和元年9月13日

報道機関 各位

第14回「人文知」コレギウム

スウェーデン兵の従軍記録にみる大北方戦争（1700～21年）（西洋史 入江幸二）
人工知能の社会学（社会学 佐藤 裕）

富山大学人文学部は、学部教員による研究会「人文知」コレギウムを定期的を開催しております。富山県の「人文知」の拠点として、人文研究のさらなる高みを目指して、様々な分野の教員が集い、相互に研究交流を図ります（※「コレギウム」は「仲間たちの集い」という意味）。

来る9月25日（水）はその第14回となります。今回は、入江幸二（西洋史・准教授）「スウェーデン兵の従軍記録にみる大北方戦争（1700～21年）」、佐藤 裕（社会学・教授）「人工知能の社会学」の2名の発表となります（詳細は、別添チラシをご参照ください）。

なお、本研究会は、一般の方や学生の聴講も可能です。

つきましては、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

開催日時：令和元年9月25日（水） 13時30分～15時30分

会 場：人文学部1階大会議室

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学 人社系総務課（人文担当）

TEL：076-445-6131

FAX：076-445-6141

Stora nordiska
kriget 1700-1721

SWEDEN

HISTORY

入江幸二(西洋史・准教授)

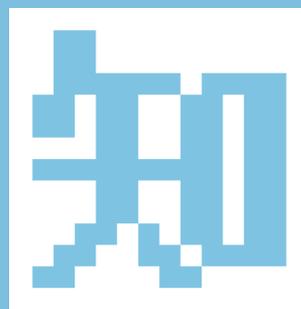
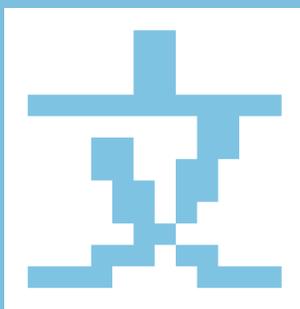
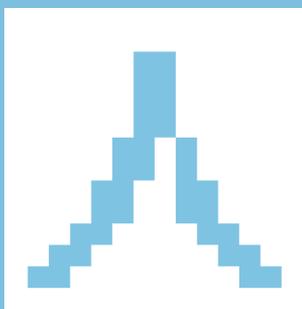
スウェーデン兵の従軍記録にみる

大北方戦争(1700~21年) [13:30-]

軍事大国スウェーデンの弱体化とロシアの台頭をもたらした大北方戦争は、今も歴史研究の重要なテーマであり続けている。また近年は軍事史的な観点にとどまらず、当時の日記や書簡をもちいながら社会史的な分析も行われるようになってきている。本報告ではスウェーデン軍の兵士・聖職者の日記を素材に、戦争中の彼らの意識やとくに捕虜としての生活がどのようなものであったか検討してみたい。

2019年9月25(水)13:30-15:30

富山大学人文学部 1階 大会議室



コレギウム #14

佐藤裕(社会学・教授)

人工知能の社会学 [14:30-]

近年、人工知能の技術は急速に発展しており、それが社会にどのような影響を与えるのかについても関心が集まっている。そこで本報告では、特に影響が大きいと思われる車の自動運転を取り上げ、それが本当に可能なのか、いかなる問題をもたらすのか、そしてそれらのことから逆に、人間が人工知能に負けない部分は何かを考えていきたい。

ARTIFICIAL
INTELLIGENCE

SOCIOLOGY

autonomous
cars_

一般の方の聴講歓迎・事前申し込み不要・無料